

事業計画

令和3年度

福島県

県産品加工支援センター

福島県県産品加工支援センター事業計画

令和3年度

目次

1	福島県県産品加工支援センター事業方針と組織	1
1-1	県産品加工支援センター設置目的	1
1-2	組織	2
2	事業計画概要	3
2-1	加工技術支援事業	3
2-2	6次化技術相談	3
2-3	広報・普及活動	3
2-4	関係機関連携	3
2-5	加工食品放射能測定事業	3
3	加工支援センターの各チームにおける事業計画概要	4
3-1	企画支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）	
3-2	食品加工支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）	
3-3	農産物流通加工支援チーム（農業総合センター生産環境部流通加工科）	
3-4	農産物流通加工支援チーム分室（農業総合センター農業短期大学校）	
4	加工支援センターの位置	5

1 福島県県産品加工支援センター事業方針と組織

1-1 県産品加工支援センター設置目的

福島県の豊かな農林水産資源を基盤とした新たな「食」産業創造を図るために策定された「ふくしま・地域産業6次化戦略」に基づき、県の試験研究機関であるハイテクプラザと農業総合センターが連携・協力し、食品加工や流通に関する技術相談や技術支援を通じて「地域産業6次化」を推進するための連携体制として「福島県県産品加工支援センター（以下、「加工支援センター」という。）」を設置する。

加工支援センターは、食品加工等に関する次の業務を所掌するものとし、本庁機関及び各地方振興局、各農林事務所と連携を図り、効果的な食品加工・流通に関する技術支援を行うものとする。

- (1) 技術相談に関すること
- (2) 食品加工・流通関連技術の開発及び成果普及に関すること
- (3) 加工食品の開発支援及び成果普及に関すること
- (4) 関係機関との連携コーディネートに関すること
- (5) その他、県産農林水産物を活用した「食」産業創出にかかる技術支援

県産品加工支援センター 地域産業6次化を推進する技術支援拠点

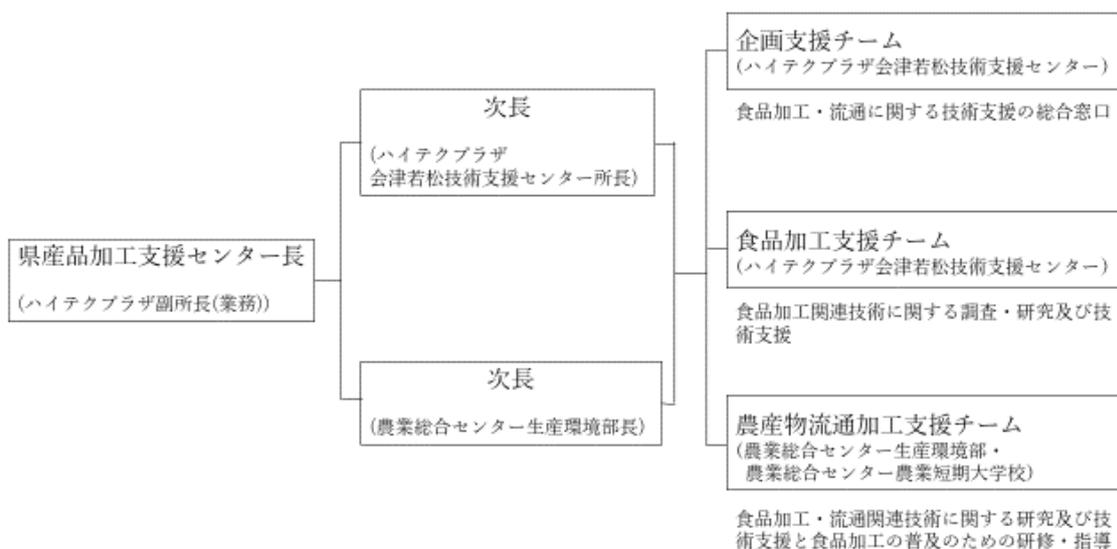


1-2 組織

加工支援センターは、企画支援チームを総合窓口としてハイテクプラザ会津若松技術支援センターに設置する。また、農業総合センター生産環境部及び農業総合センター農業短期大学校にも支援チームを設置する。

- (1) 企画支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）
食品加工・流通に関する技術支援の総合窓口を担う。
- (2) 食品加工支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）
食品加工関連技術に関する調査・研究及び技術支援を担う。
- (3) 農産物流通加工支援チーム（農業総合センター生産環境部・農業総合センター農業短期大学校）
食品加工・流通関連技術に関する調査・研究及び技術支援と食品加工の普及のための研修、指導を担う。

加工支援センター長はハイテクプラザ副所長（業務）、次長はハイテクプラザ会津若松技術支援センター所長及び農業総合センター生産環境部長をもって充てる。



2 事業計画概要

2-1 加工技術支援事業

(1) 加工技術研修

食品加工支援チームや農産物流通加工支援チームが開発した技術の移転や普及、農業短期大学校に整備されている加工機器などを使用した新商品開発のための研修を2回程度開催する。

(2) 企業訪問による課題解決（重点支援事業）

農林事務所及び振興局から推薦され、センター長が重点支援対象者に決定した事業者を訪問し、加工技術について助言・指導を行うとともに、必要に応じて技術支援を実施する。

(3) 研修等支援活動

要望のあった団体等への食品加工の講師派遣を行う。

2-2 6次化技術相談

ハイテクプラザ技術指導等事業により、県内の6次化加工業者に対して技術支援を行う。

2-3 広報・普及活動

(1) 加工支援センターの成果を、支援事例集作成、オンライン配信、ホームページ等で公表し、広く周知する。

(2) 地方ネットワーク交流会等で支援内容の紹介を行う。

2-4 関係機関との連携

(1) 各地方ネットワークの交流会等に参加し情報交換を図る。

(2) 6次化サポートセンター等との連携を図る。

2-5 加工食品放射能測定事業

県内の食品加工業者等を対象とした、ゲルマニウム核種分析装置による加工食品の放射性セシウム測定を行う。

3 加工支援センターの各チームにおける事業計画概要

3-1 企画支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）

- (1) 食品加工・流通に関する技術支援の総合窓口業務を行う。
- (2) 加工研修や重点支援事業、6次化加工業者に対して技術支援を行う。

3-2 食品加工支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）

- (1) 研究課題「福島県産果実の品質・加工適正評価」（R01～R03）の研究を行う。
- (2) 食品加工の技術支援を行う。

3-3 農産物流通加工支援チーム（農業総合センター生産環境部流通加工科）

- (1) 県産農産物の加工技術の開発
あんぱ柿の剥皮適期判断技術開発や発芽玄米麴の加工利用技術開発、リンゴの加工適正評価を行う。
- (2) 本県農産物の機能性成分の評価と利用技術の開発
アスパラガスとブロッコリーに含まれる機能性成分の評価と機能性成分が保持される加工条件の解明を行う。

3-4 農産物流通加工支援チーム分室（農業総合センター農業短期大学校）

- (1) 加工研修を基礎（春コース・秋コース）、応用コース（加工技術向上）に分けて開催する。
基礎コースは営業許可と食品表示、殺菌と包装、瓶詰め・袋詰め食品、事例紹介、
応用コースは加工技術向上を実施する。
- (2) 6次化に取り組む農業者からの要請に応じ、随時、施設利用研修を実施する。

4 加工支援センターの位置



**ハイテクプラザ
会津若松技術支援センター**
〒965-0006 会津若松市一箕町鶴賀字下柳原88番地1
TEL.0242-39-2974(企画)・TEL.0242-39-2976(食品加工)
FAX.0242-39-0335



農業総合センター
〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道116番地
TEL.024-958-1719(農産物流通加工) FAX.024-958-1727



**農業総合センター
農業短期大学校**
〒969-0292 西白河郡矢吹町一本木446番地1
TEL.0248-42-4114(農産物流通加工分室)
FAX.0248-44-4553